

かいさいよてい  
**開催予定**

2021.12.17.現在

※感染症の状況によって開催予定・時刻が変更する場合があります  
参加する前に当会ホームページ新着情報をご確認ください



2022年 1月							2月							3月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28							28	29	30	31			
31																				



○ 第1(土)(日)を中心に開催  
**大袋プレーパーク**  
〈越谷市プレーパーク事業〉  
大袋 原っぱ公園 11時~16時

♡ 第3(火)は乳幼児親子の遊び場  
**ちびころ** 〈自主事業〉  
大袋 原っぱ公園 10時~12時 協力金:一世帯 300円  
雨天中止:当日 LINE、facebook で連絡

☆ 第3(土)  
**東越谷プレーパーク**  
〈越谷市放課後子ども教室〉  
東越谷第七公園 13時~16時  
(花田1-4)



□ 第1(火)を中心に開催 〈自主事業〉  
**おちかくプレーパーク**  
1月 2月:七左第四公園  
※おちかくプレーパークは公園近隣にお住まいの方を対象としています。



Q 泥で汚れるイメージがあるのですが…  
A みんな泥んこにはなりません。  
泥遊びが好きなお子、苦手なお子、見ていただけのお子(はじめは)、さまざまです。どちらにしても汚れる覚悟はした上で、遊びに来ると気がラクです。

Q 「会員」にならないと遊べないのですか？  
A いいえ。誰でも！遊べます。  
出入り自由です。どんなところか気になったらぜひ遊びに来てください。会員については以下をご覧ください。

自分の責任で自由に遊ぶ  
モットーは  
普通の公園が禁止事項ばかりなのは、何かあったときに「公園をつくった人が悪い」と管理者の責任を追及する傾向があるからです。子どもが公園で自由に遊ぶには、「事故は自分の責任」という考え方が基本です。そうしないと禁止事項ばかりが増えてしまい、結果、子どもが自由にチャレンジする機会を奪うことになってしまいます。子どもが思いっきり遊べる場所をみんなの力で作りましょう！

会員になってプレーパークを応援しませんか  
全国各地で400を超える団体が冒険遊び場づくりに取り組んでいます。越谷にプレーパークをつくる会は、有志の市民が中心となってボランティアで運営しています。会費は活動の大切な資金となっています。越谷市が「遊びあふれるまち」になるよう一緒に願ってくれる方を募集しています。

- 正会員 2000円/年 (活動趣旨に賛同し積極的に応援)
  - 賛助会員 1000円/回 何回でも！ (財政的にサポート)
- 会費・寄付金は郵便振替でもお受けしております。  
00540-2-78897 NPO法人越谷にプレーパークをつくる会

ホームページ ブログ LINE Facebook

NPO法人越谷にプレーパークをつくる会

メール koshigaya.asobo@gmail.com

プレーパーク 越谷

遊びあふれるまちへ



# 越谷にプレーパーク

をつくる会 **通信**

62号  
12月発行  
2021

## ハラハラ？ そんな時の見守るコツ！

子どもは初めてのことに会おうと、興味をもち、挑戦してみたいと思うものです。これは自ら育つための本能といってもよいくらいです。  
例えば、プレーパークで用意してある木工遊びもその一つと言えます。



道具を使うための手足の使い方など、子どもが自ら育つために必要な大切なものばかりです。  
では、大人はどんなふうに見守ったらいいのでしょうか。  
初めて工具を手にした子どもたちの様子の中に、周りをキョロキョロ見回すということがよくあります。他の人はどんなふうに使っているのか見ているのです。年上の子もや大人が隣で作業するのを真似してみるところから始める子どもがほとんどです。言葉で説明するよりも理解が得られるようです。お父さん、お母さんには、ぜひお子さんの隣で自分も作業してみたいと思っています。そうすることでどんな時が危険であるかも実感できるのと同時にわが子の成長を感じるかもしれません。そして何より憧れのロールモデルとなれるチャンスでもあります。(瀏野)

自由に使える木材があり、本物ののこぎりと釘が置いてあったら「やってみたい」と多くの子どもが感じるようです。最初のうちは、子どもたちが使い方もよくわからず危なっかしい手つきで作業をするので、大人、特に親たちはついつい口をはさみたくなります。しまいいは我慢できずに「危ないからやめなさい」と言ってしまうかもしれません。しかしこの言葉が発せられた瞬間にあっていうまになくなるものがあります。それは、子どもが新しいものに挑戦したいという気持ち、一つのこと熱中する集中力、完成した時の達成感、





# 遊びのレンズ



私は、ちびころやおちかくプレーパークなど、乳幼児親子の活動に関わっています。

1～2歳児の子たちにとっての遊びは「鬼ごっこ」や「ままごと」といった名のある遊びではなく、歩く・触る（時には口に入れる）・見つけるといった日々の生活そのもので、周りに子どもたちがいても一緒に遊ぶというより、自分の興味のままに動いていることが多いようです。そんな中、ふっと微笑ましく思ったり、驚かされたりする瞬間に出会うことがあります。

11月のちびころは木の葉・木の実アートでした。アートそっちのけでどんぐり転がしに夢中になっている2歳児、そのどんぐりが転げ落ちて洗面器にポトンと落ちるたびに、パチパチと手を叩いて喜ぶ1歳児が可愛かった、とママスタッフから報告がありました。(私も見たかったなあ!...)

片付けが終わり、残った葉っぱは公園に撒くことにしました。3歳の子に「葉っぱシャワーだ〜!」と頭から降りかけたら、両手を広げ顔を空にむけて満面の笑顔で浴びていました。キラキラの笑顔は見ていた人たちにも連鎖して、暖かな気持ちになっていくのでした。



以前のちびころで、終了時にブルーシートを片付けようとママたちが四隅を持ち上げたら子どもたちがシートの下に入りこみ、あまりにも楽しそうでなかなか畳めないという光景がありました。素敵な瞬間(素敵な遊び)でした。

日々、家事や子育てに追われていると、見過ごしてしまったり気づかなかったりする我が子の素敵な瞬間(素敵な遊び)がたくさんあるのだと思います。「お外で一緒に子育てしませんか?」プレーパークではずっとそう呼びかけてきました。一緒に見守りながらおもしろがってみましょう。(星野)



★あそびのエピソード★ 傘のイラストが描かれたちびころの黒板を見て、水入りのボトルを使って雨を降らせていた子(写真)。スタッフが長縄のようにロープを回したら2、3歳の子どもたちがあちこちでジャンプジャンプ。跳んでいるつमोरのそんな様子にみんなで大笑いしたそう。親や大人はつい「正しい」やり方など教えがちです(…私)。子どものやっていることそのものをおもしろがってみることは、親と子のかけがえのない光り輝く瞬間なのだと気付かされました。(かなもん)



Thank you

## 地域の皆さん、ありがとうございます

野口組さま 坂本さま イオンスタイルせんげん台さま  
(株)山下工務店さま カスミフードスクエア越谷大袋店さま  
タイヤガーデン越谷店さま ドラッグストアセキ花田店さま  
木材・古タイヤ・ダンボールなどを提供頂いております。

# 2022年度プレーリーダー募集!

来年度大袋プレーパークではリーダーを募集します。プレーパークにとってプレーリーダー(プレーワーカー)は欠かせない存在です。子ども達と遊ぶのはもちろん、道具の管理、安全の管理、ケンカがあったら見守り、時にはフォローに入ったりします。プレーリーダーがいるからお父さんお母さん達はAKU(あぶない・汚い・うるさい)を言わずにみんなが自由な雰囲気になれるのです。



今年度、大袋には新しいリーダーで安ちゃんとお野君が来てくれていました。二人は、リーダーを実践しては、振り返り、考えて、悩んで、また実践することを繰り返していました。4月から二人を見ていて、人としてとても大きく優しく強く成長し、頼れるリーダーとなってきています。

プレーリーダーはまだ知名度の低い職業ですが、遊びの素晴らしさを伝えながら自分も成長できる仕事でもあるのです。

子どもに関わることや好きな方、プレーワークを学んでみたい方、ご応募お待ちしております。

(クリボー)

募集期間は1月～2月末日。募集要項は  
当会ホームページ新着情報をチェック!



## 東越谷プレーパーク

先日、放課後子ども教室の指導員(地域ボランティア)の皆さんが集まり、交流会がありました。子どもたちと過ごしていて気になったことは?という議題に返ってきた答えで印象に残った事がいくつかありました。その中の一つで手先の不器用な子が増えた気がするという話でした。工作をしたときリボンが結べない子が多かったとの事。(蝶々結びではなく一回だけ何かに結びつけるだけでも。)もちろん教えようと指導したけれど、「やって」や「できない」になりがちだとか。

## 不器用な子が増えている?

まあ、便利グッズが増えた世の中、お弁当包みも巾着だし、靴も紐でないし、リボンも出来合いが売っています。うん。無くても過ごせます。が、手先を自由に使えるのは脳の発達の為には重要。(ボケ防止にもなるっていうでしょ。笑)何事も機会があればできるようになります。指導では無くて遊びの続きや生活の続きで。便利もどこまで許容していくか。大人の我慢がためされているかも。さて、さて、遊びの仕掛はどうしましょう!(川)



## プレーリーダーって?

子どもととことん遊び、ありのままを受け入れ、遊び全体に目を配ります。遊びの種を蒔き、遊びを通して子どもたちの相談相手にもなってくれる、親でも先生でもない子どもと対等な大人です。遊びに伴う危険を予測して対応し、遊び場の整備なども行います。